



FOURIN 世界自動車調査月報

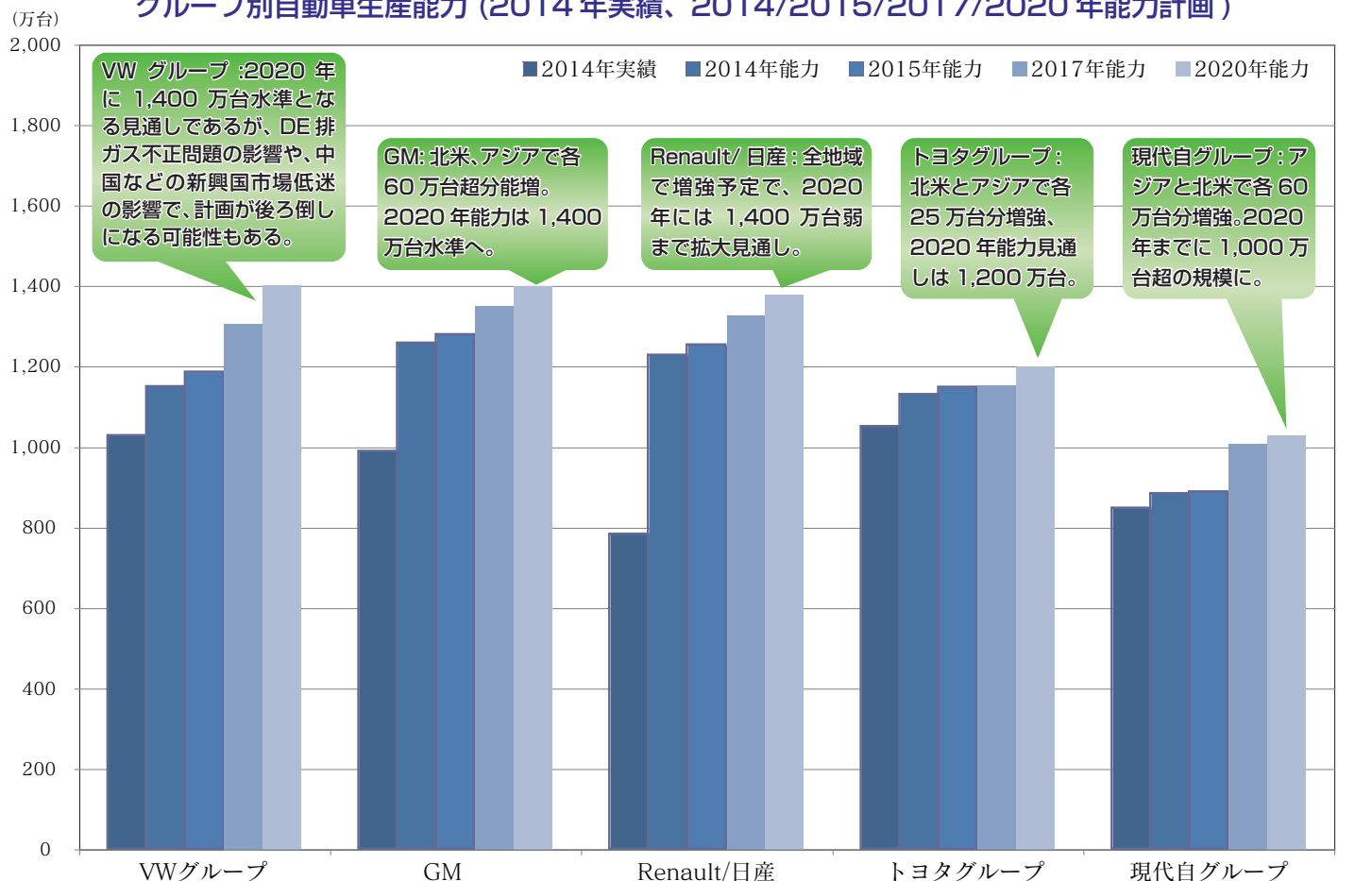
■ 発行：毎月5日 ■ 体裁：A4判、標準66ページ
 ■ 購読料：1年間（12号分）240,000円 + 税 国内送料込
 半年間（6号分）132,000円 + 税 国内送料込

世界の主要自動車各社は2020年の自動車市場が1億台まで拡大することを前提に、世界各地で生産能力を増強する計画で、VWグループ、GM、Renault/日産の3グループの生産能力は2020年に1,400万台水準となる見通しです。しかし、中国市場の失速、ブラジル、ロシア市場の低迷の長期化により、能力計画は見直される可能性もあります。1億台のうち多くは内燃機関車ですが、VWのDE排ガス不正問題を受け、低公害車対策上有利と見られてきたディーゼル車への信頼が揺らぎつつある今、電動車へのシフトが急速に進み、電動車普及が加速する可能性が出てきました。IoT (Internet of Things) 社会を見据えた技術革新、大都市化なども追い風となります。

『FOURIN 世界自動車調査月報』は世界の自動車市場の動向、欧米自動車メーカーの戦略をまとめています。グローバル競争時代の必携の専門書として定期購読をご検討ください。

世界自動車生産能力、VW Gr.、GM、Renault/日産が2020年に1,400万台規模へ

グループ別自動車生産能力 (2014年実績、2014/2015/2017/2020年能力計画)



VWグループ：2020年に1,400万台水準となる見通しであるが、DE排ガス不正問題の影響や、中国などの新興国市場低迷の影響で、計画が後ろ倒しになる可能性もある。

GM：北米、アジアで各60万台超増強。2020年能力は1,400万台水準へ。

Renault/日産：全地域で増強予定で、2020年には1,400万台弱まで拡大見通し。

トヨタグループ：北米とアジアで各25万台分増強、2020年能力見通しは1,200万台。

現代自グループ：アジアと北米で各60万台分増強。2020年までに1,000万台超の規模に。

(各国自工会データ、各社広報資料、各種資料よりFOURIN作成)

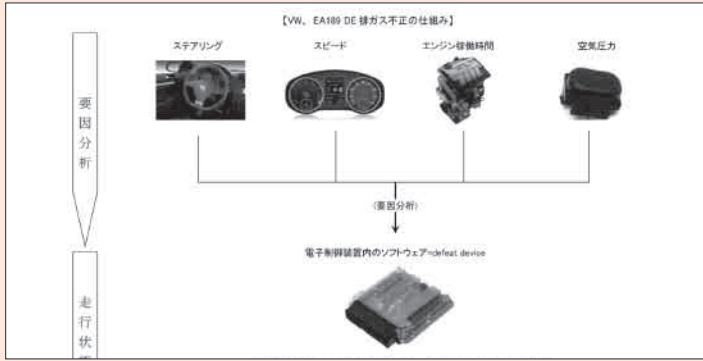
世界自動車調査月報 購読者の声

- 毎年7月号掲載の世界部品ランキング、毎年注目しています。(Tier.1 メーカー)
- 北米サプライヤーレポートは事業戦略を考える上で役立っています。(Tier.1 メーカー)
- 自動車のグローバルトレンドや世界生産・販売台数が役に立っています。(Tier.2 メーカー)

視点(各号1~3ページ):

世界の自動車産業トレンドおよび市場動向を分析する視点を編集長などが毎月1本書き下ろします。

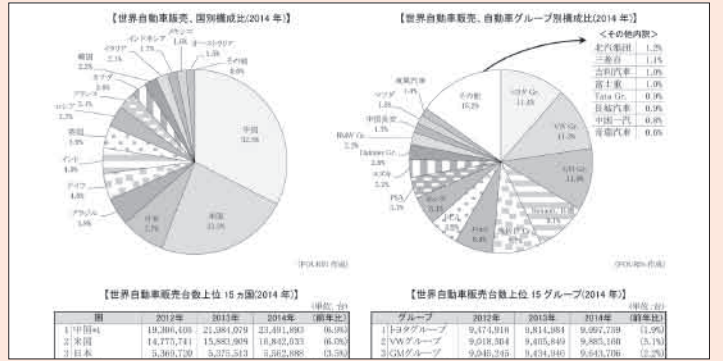
2015年10月号p.4 『VW、米国での排ガス不正ソフト問題の経緯と影響(速報)』より



特集(各号1~3本、13ページ以上):

自動車市場動向、各国の自動車産業政策、自動車および部品メーカーの経営戦略分析などを毎月1本以上掲載します。

2015年6月号p.2 『世界自動車販売、2014年に8,767万台、トヨタGr.が首位堅持もVW Gr.とは僅差』より



定常レポート(各号32ページ以上):

北米、欧州、中南米・大洋州、中近東・アフリカの地域別の枠で各国市場動向や政策関連、自動車各社の戦略および動向レポートと、部品メーカーのレポートを掲載します。

世界国別車種別月次生産・販売統計(各号標準17ページ):

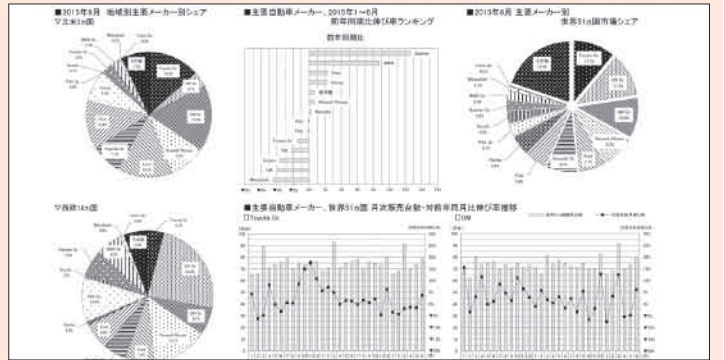
世界27ヵ国の自動車生産台数、49ヵ国の自動車販売台数を、国別、車種別に月次で掲載します。

2015年8月号p.50 『Bosch、電動化と自動運転化のトレンドに対応した製品技術力強化を推進、ADAS関連の売上高拡大続く』より

【Bosch、安全運転支援システム事業の重要な関連最新動向】

- 安全運転支援システム事業概況(2015年7月)
 - 自動車に不可欠な安全運転支援システムを供給する事業の世界売上は、2015年1-6月の成長を続け、2015年1-6月には10億ユーロに達する見込み。
 - レーダー、カメラ、ステアリングだけでなく、センサー、ナビゲーションシステムやソフトウェア技術にまで、自動運転に関わるあらゆる技術を手がける。各分野の個別での見込みに加え、自動運転を支援する一連のシステムとして提供が可能。
 - 2014年に安全運転支援システム向けのセンサーを5,000万個販売、レーダーセンサーの販売は2014年に比べ2015年も倍増となる見込み。ACCなどで使われるレーダーセンサーでは市場シェアトップ。また、7月1日のレーダーセンサーの累計生産台数が2015年に1,000万個に達する見込み。
 - Boschの安全運転支援システム開発実績は2,000人で、2年あたりも700人以上を増やしている。
 - アジア市場だけでなく、急速に自動運転を推進する技術が欧州自動車メーカーにより採用されている。2020年に公道道路での自動運転が実現できると見込、自動車の動向を捉えながら関連技術の開発を強化。
- 安全運転支援システム事業の概要(2015年5月)
 - ADASセンサーのみでレーダーアシストを実現できる技術を開発。
 - レーダーアシストには、レーダーセンサー、あるいはレーダーとビデオカメラを組み合わせたシステム、およびカメラのみでレーダーアシストを実現できるシステムなど、さまざまな技術を開発。
 - Land RoverがDiscovery Sport、ビアオカグループのBosch製レーダーアシストを標準装備、Discovery Sportは2014年にEuro NCAPで最高評価を獲得。
- 自動運転テスト車両のフリーにTesla Model Sを追加(2015年5月)
 - Boschの自動運転走行実験車隊のフリーに2台のTesla Model Sが加入し、テスト車隊は10台。交通規制や道路状況の認識に不可欠なADAS製のステレオビデオカメラ、全長1,400mのケーブル、ESC、各種ECUなどを搭載。
 - 自動車業界のトレンドが自動運転化と自動運転化であることから、Model Sを自動運転車として採用。
- Boschのステレオビデオカメラが自動運転をサポートする安全運転支援機能が追加されている。
 - Boschのビデオカメラは水平視角が90度で、50mを超える距離を3D測定することが可能。ビデオセンサーは色認識機能とCMOS技術を採用。1,280×960画素の解像度で画像を処理できる。
 - 270°の視野角を備えたカメラは、12m x 12mのレンジファインダーが特徴。ISO 20000に準拠したAHD-B標準に適合。
- Daierとバントバーキングが共同開発した自動運転車(2015年6月)
 - Daier, cegep/daierのカーシェアリング会社と共同で、スタートアップ企業によるスタートアップが開始した自動運転車の実証実験を実施することを見込。
 - Boschが提供する駐車場のインフラ設備や車両開発システム、Daierが提供する最新世代の車載センサー、cegepのカーシェアリングに関するノウハウを統合した実証実験を行う。
 - Boschは、駐車スペースの空き状況を検知するセンサーやカメラ、道路技術などのインフラ設備、駐車プロセスの制御を行う通信ネットワークの開発を推進中。Daierは、cegepの車両に搭載されているセンサーシステムとソフトウェアを統合する予定。

2015年10月号p.62 『世界主要自動車メーカー、地域別販売台数・シェア動向(2015年6月)』より



申込方法

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mail (info@fourin.jp) による受付も行っております。

世界自動車産業専門調査会社



〒464-0025 名古屋市中種区桜が丘292 4F
TEL: 052-789-1101 FAX: 052-789-1147
http://www.fourin.jp E-mail: info@fourin.jp

FOURIN

世界自動車調査月報 (年 月 月より)

FOURIN世界自動車調査月報の見本誌(無料)を希望します

(株)フォーイン行 フリーダイヤル Fax: 0120-0000-73

購読申込書 (HP)

✓チェック下さい

購読料

1年間(12冊) 240,000円(税込259,200円)

半年間(6冊) 132,000円(税込142,560円)

(国内送料込、海外へは別途送料実費が必要です)

御社名

御利用部署名

御住所
(送付先)

TEL番号

FAX番号

E-mail address

(フリガナ)
御担当者氏名

御役職

通信欄

年 月 日